

1 化学品及び会社情報

化学品の名称 (化学物質又は製品の名称) :

製品番号 : 32106102

商品名 : ULTRA-CRISP CS

識別の他の手段 :

化学族 : スター-

推奨される使用および使用制限:

推奨される使用: 食品用途。

使用上の制限事項 : 知見なし

サプライヤー名、住所および電話番号:

イングレディオン・ジャパン株式

東京都港区新橋3-5-10

新三ビル 2F

日本

Tel: +81-3-3504-9665 (営業時間内)

緊急連絡先電話番号 :

CHEMTREC -

緊急連絡先 (製品における医療、輸送対応 週7日間/24時間

グローバル (米国以外) 電話番号 : +1 703-741-59

オーストラリア : +(61)-290372

中国 : 4001-204937

香港 : 800-968-7937

インド : 000-800-100-714

インドネシア : 001-803-017-91

日本 : +(81)-3-4520-9637

マレーシア : +(60)-392125794. 1-800-815-30

ニュージーランド : +(64)-98010

フィリピン : +(63) 2-395-3308. 1-800-1-116-10

シンガポール : +(65)-31581349. 800-101-220

韓国 : +(82) 070-7686-0086. 00-308-13-2549

台湾 : +886-2-7741-4207*. 00801-14-8954

タイ : 001-800-13-203-998

ベトナム : +(84)-4445819

*が付いている国の電話番号は、その国の国内でダイヤルする必要があります

。

SDSに関する要望、その他情報はセクション16に記載の各国の顧客サービスにご連絡ください

JIS Z 7252 : 2019による分類:

国際調和化システムハザードシンボ: ハザード記号は不要

JIS Z 7252:2019に従った分類: 水生環境に有害 - 急性カテゴリー:
 信号語: 注意喚起語は必要ありません。
 危険有害性情報: 水生生物に有害
 注意書き:
 予防策: 環境への放出を避ける。
 廃棄: コンテンツ/コンテナをに廃棄しま
 その他の危険: 何も知られていません

3 組成及び成分情報

物質:
適用できません

混合:

化学名	類義語	CAS番号	%
この製品は危険物として分類されて ません			

4 応急措置

異なる暴露経路、すなわち吸入、皮膚および眼への接触、および摂取に応じて細分化された必要な措置の記:

吸入: 新鮮な空気が得られるところに移すこと。炎症が持続する場合は医師の指
 を受けること

アイコンタクト: 瞼を開いたまま、目薬溶液やきれいな水で洗浄して粒子を取除くこもし
 症状が見られた場合は、医師の治療を受けること

スキンコンタクト: 皮膚を石鹸と水で洗浄すること

経口摂取: 必要なし

予想される急性症状遅延効果および最
重要症状/影響: 粉塵粒子が身体刺激剤となる可能性がある。
 粉塵爆発が起こる可能性がある

医学的な配慮: これ以上の応急処置情報はありません。

5 火災時の措置

消火媒体：

適切な消火媒体：

化学消火剤，二酸化炭素，放射水煙，水

不適切な消火媒体：

何も知られていません

特定の危険：

最低発火温度 約390C 最低爆発濃度 約70 mg/l
電気発火による最低エネルギー 約 0.06 ジュー

危険な燃焼生成物：

この製品は自然分解を行わない。代表的な燃焼生成物は一酸化炭素、二酸化炭素、窒素及び水。

消火器のための特別な保護装置と保護対策：

特別な処置はない。

6 漏出時の措置

個人の注意事項、保護装備及び緊急時の手順：

要求されている保護具を使用してください

環境への注意事項：

データなし

封じ込めの手段と物質および清掃の手段と物質：

粉塵を防止するために通常の予防措置に従うこと。
粉末を吸入しないようにすること
速やかに掃き取り、掃除機をかけ、適した廃棄処分用容器に回収すること

7 取扱い及び保管上の注意

安全取り扱い上の注意：

すべての化学物質と同様この材料を処理するときに良好な産業衛生習慣を従う必要があります

非互換性を含む安全な保管条件：

安全保管条件：

使用しないときは、容器を閉じて保管してください

静的感度：

有

その他の注意事項：

通常の使用条件では粉塵の発生を最低限に押えるよう注意を払うこと
粉末の吸引を予防する為、保管場所を掃除すること。

避けるべき物質/化学的不適合性：

何も知られていない。

8 ばく露防止及び保護措置

職業暴露限界値と生物学的限界値 :

化学名	日本は - 曝露限界を推奨 - TWA	日本 - 推奨露光限度 - 天井制限	日本 - 推奨曝露限界 - 生物学的モニタリン
データなし			

10 mg/m³未満で作業をすること

技術管理 :	通常通り
個人用保護装備 :	
呼吸器保護 :	NIOSH 認可の防塵マスクの着用を推奨。
眼及び / 又は顔面の保護具 :	安全メガネを推奨。
皮膚および身体保護 :	製品の温度によっては、皮膚の保護が必要になる場合があります。
手の保護 :	特になし
その他の保護:	特になし特になし
衛生 :	飲食、トイレ設備を使用する前に手を洗うこと。

9 物理的及び化学的性質

化学物質の外観 (例 : 物理的状态や形、色):

純粋な物質または混合物 :	単一製品
物理的状态 :	粉末
色:	白色
臭気:	デンプン特有の臭い
臭気限界 :	知見なし
pH:	知見なし
(1%) 溶液のp:	約 3.5
融点/凝固点 :	
融点:	知見なし
凝固点:	知見なし
沸点又は初留点及び沸点範囲 :	知見なし
引火点:	適用外
蒸発率:	適用外
可燃性:	なし
高い/低い可燃性または爆発限界 :	
高い可燃性または爆発限界:	知見なし
低い可燃性または爆発限界:	知見なし

蒸気圧：	知見なし
相対ガス密度：	知見なし
密度及び / 又は相対密度：	1.5
溶解度：	可溶性
n-オクタノール / 水分配係数 (log K _{ow}):	知見なし
自然発火点：	知見なし
分解温度：	知見なし
動粘性率：	適用外
粒子特性：	適用できません

10 安定性及び反応性

反応性：	反応性なし
化学安定性：	光遮断下、常温で安定。
危険反応：	危険な重合は起こらない。
避けるべき条件:	何も知られていない。
不親和性物質：	何も知られていない。
危険分解生成物：	この製品は自然分解を行わない。代表的な燃焼生成物は一酸化炭素、二酸化炭素、窒素及び水。

11 有害性情報

様々な毒物学的 (健康) 影響とその影響を特定するために利用可能なデータ:

暴露の可能性のある経路に関する情報 (吸入、経口摂取、皮膚および眼の接触):	誤飲, 吸入, 皮膚との接触, 目との接触
ばく露の影響を受ける可能性のある標的臓器:	適用外
物理的、化学的および毒物学的特性に関連する症状:	データなし
毒性効果:	この製品は毒性がないとみなされている。産業衛生指針の実践方法を使用することを推奨

遅延および即時の影響、および短期および長期の曝露による慢性的な影響:

急性毒性:	
急性毒性-経口:	入手可能なデータに基づくと、GHS分類基準は満たされていませ
急性毒性-皮膚:	入手可能なデータに基づくと、GHS分類基準は満たされていませ
急性毒性-吸入:	入手可能なデータに基づくと、GHS分類基準は満たされていませ
皮膚腐食性 / 刺激性:	ほとんど毒性はない。推奨された取扱いや使用条件では有害な影響を及ぼすと思われない。

目の損傷/刺激：	入手可能なデータに基づくと、GHS分類基準は満たされていませ
呼吸器感作性又は皮膚感作性：	入手可能なデータに基づくと、GHS分類基準は満たされていませ
皮膚感作：	入手可能なデータに基づくと、GHS分類基準は満たされていませ
生殖細胞の変異原性：	入手可能なデータに基づくと、GHS分類基準は満たされていませ
発がん性：	何も知られていません
生殖毒性：	何も知られていません
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：	入手可能なデータに基づくと、GHS分類基準は満たされていませ
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：	入手可能なデータに基づくと、GHS分類基準は満たされていませ
誤えん有害性：	入手可能なデータに基づくと、GHS分類基準は満たされていませ

毒性の数値的尺度（急性毒性推定値など）：

化学名	LD50経口	LD50皮膚	LC50吸入
コンポーネントまたは製品について入手できる既知の毒性データはありません			

12 環境影響情報

生態毒性： 知見なし

生態毒性データ：

化学名	CAS番号	水生LC50魚類	水生ERC50藻類	水生EC50甲殻類
データなし				

持続性及び分解性： データなし

生物濃縮の可能性： データなし

土壌内移動性： 未知の

オゾン層への危険性： 何も知られていません

13 廃棄上の注意

残渣からの廃棄物： 国の法律、或いは、地方の条令に従い、廃棄処分を行うこと

14 輸送上の注意

国連番号： 適用できません

製品名（国連出荷正式名）： 該当せず

国連分類「輸送危険有害性クラス」： 該当せず
 パッキンググループ（該当する場合）： 該当せず
 有毒な吸入の危険区域： データなし

 海洋汚染物質（Y/N）： データなし
 大量に液体物質を搬送する際はマルポール条約附属書II IBCコード(Y/N)に従う： データなし
 特別注意事項： 海上輸送の際には、IMO規則に従ってください

15 適用法令

このセクションでは安全データシートが適用される地域/国において特定の化学物質に適用される法律の名前などを含む情報を提供します。法律に関連する規制およびその他の適用される法律の名称に関する情報が含まれます。

TSCA ステータス： 当該製品は Toxic Substances Control Act, 15 U.S.C. 2601 et seq. に係る全ての規定に準拠して製造されている
FDA 21CFR182.1.

汚染物質排出・移動登録（PRTR）法

化学名	CAS番号	PRTR法 - クラス1物質	PRTR法 - クラス2物質
データなし			

日本 - 労働安全衛生法

化学名	CAS番号	日本-ISHL 物質リスト
データなし		

日本の毒物及び劇物取締法

化学名	CAS番号	日本の毒物および劇物
データなし		

オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書

化学名	CAS番号	オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書
データなし		

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約

化学名	CAS番号	残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約
データなし		

国際貿易における特定の有害化学物質および農薬に関する事前の情報に基づく同意手続きに関するロッテルダム条約

化学名	CAS番号	国際貿易における特定の有害化学物質および農薬に関する事前の情報に基づく同意手続きに関するロッテルダム条約
データなし		

危険な廃棄物の国境を越えた移動の管理とその処分に関するバーゼル条約

化学名	CAS番号	危険な廃棄物の国境を越えた移動の管理とその処分に関するバーゼル条約
データなし		

16 その他の情報

改訂日: 02-02-2023

優先する: 11-20-2022

リビジョン番: 3

改訂理由: 新規

詳細についてはお問い合わせください
 日本:
 イングレディオン・ジャパン株式
 カスタマーサービス: +81-3-3504-96

免責事項:

添付のデータは、Ingredion Incorporated および Inaredic グループ企業が信頼できると信じている情報源から編集されており、私たちの知る限り、正確であると信じています。Ingredion Incorporated および Inaredion グループ企業は、データの正確性または完全性に関して、いかなる保証または表明も行うことができません。当社は関連する責任または損害について、または従業員、顧客、または他者の保護に関してお客様に助言することについての責任を負いません。そのような情報の適用性、または特定の用途に対する製品の適合性を判断するには、独自のラを行う必要があります。Ingredion Incorporated および Inaredion グループ企業は、商品性、正確性、使用または特定の目的への適合性、および非侵害の保証を含むがこれらに限定されない、明示的または黙示的なすべての保証を明示的に否認します。国際物品売買契約に関する国際連合条約は、Ingredion Incorporated および Inaredion グループ企業による製品の販売には適用されません。INGREDIONのマークとロゴは、イングレディオングループの商